

【鶴ヶ島駅周辺まちづくり】 道路環境整備事業

安全で居心地が良く歩きたくなる道路空間の形成のため、鶴ヶ島駅通りを整備する。

Q 安全な交差点とは。

A 見通しが良い交差点である。今回実施する隅切りの設置は、安全対策としては非常に効果的であると考えている。

Q 歩きたくなるまちの道路環境の安全をどうやって確保していくか。

A 歩きやすさと、歩きたくなるまちの両方を実施していく中で、景観というものが非常に大きな要素である。そこにダイレクトにアプローチするのが無電柱化である。

また、自主後退用地は、今後、沿道の方に説明会を実施し、納得いただいた上で可能な整備をしていきたい。



鶴ヶ島駅通り

小中学校水泳指導方法検討事業

小・中学校の水泳指導について、民間の活用により、施設を保有せずに実施する方法について検討する。

Q 5年度の成果は。

A 児童生徒の泳力の向上及び天候に左右されない計画的な授業の実施やプールの管理が不要になったことなどによる教員の負担軽減である。また、小学6年生の25メートル以上クロールで泳げる子の割合は、民間施設を活用した学校のほうが高かった。

Q 検討事業に参加する学校、参加しない学校の区分は。

A 校長会議で周知し、小学校全校及び中学校1校から希望があった。5年度は、比較的小規模の小中学校3校、中学校1校で実施したが、6年度は小学校を全校及び中学校1校に拡大して実施する予定である。

Q 児童・生徒、保護者の声は。

A 児童・生徒からは、楽しかった、泳ぎが上達した、来年もやりたいとの声や、保護者からは、天候に左右されないことがよかった、子どもが楽しかったと言っていたとの声が多く寄せられ、概ね好評であった。

部活動地域クラブ化支援事業

子どもたちのスポーツ・文化活動を確保するとともに、教員の働き方改革のため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備する。

Q 事業の具体的な内容は。

A 新人戦終了後に中学校全校で関われる競技において指導者を確定し、対応する予定である。これに加えて、指導者の質と量の確保、関係団体などの連携、生徒の自宅から会場までの安全確保の体制づくり、参加費用の負担の在り方を含めて、安定した事業の実施が見込めるかを検証する。

Q どのように参加者を募るか。

A まだ検討段階だが、少なくとも夏休み前には、学校の教職員に説明し、秋までに募集に入る予定である。



特別会計予算

国民健康保険 約66億4681万円

後期高齢者医療 約12億6601万円

介護保険 約48億1452万円

一本松土地区画
整理事業 約1億1779万円

若葉駅西口土地
区画整理事業 約1億9178万円

国民健康保険

Q 医療費適正化の取組は。

A 第2期鶴ヶ島市国民健康保険保健事業実施計画などを定め、国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指している。糖尿病性腎症重症化予防対策事業、特定保健指導実施率向上対策事業及び生活習慣病予防対策事業を実施している。

後期高齢者医療

Q 対象者の推移は。

A 令和5年度12月末時点では、1万7222人である。昨年度と比較し7.6%上昇している。

介護保険

Q 小規模多機能型居宅介護施設などの見直しは。

A 今後を見据えると、地域密度が高まる。特に医療、介護双方を必要とする高齢者が増えている。在宅サービスの部分をしっかりと整備していきたい。

